

2025年3月11日

## 東日本大震災から14年を迎えて【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会  
事務局長 石川 聡一郎

東日本大震災の発生から、本日で14年を迎えました。

いまだ2,520人が行方不明となっており、約2万7千人もの方々が避難生活を余儀なくされています。

政府は2021年度からの5年間を「第2期復興・創生期間」と位置づけ、地震・津波被災地域では復興事業がその役割を全うすることを目指していますが、復興事業における新たな課題も明らかとなっており、その検証はもとより震災を風化させない取り組みが必要です。

被災地域の自治体等では追悼行事がおこなわれていますが、いくら年数が経っても、被災地の復興への想いや、被災された皆さんへ寄り添う想いが薄れることがあってはなりません。

日本では南海トラフ地震も想定されるなかで、東日本大震災を風化させず、その教訓を活かしていかなければなりません。また世界では地球温暖化を起因とした自然災害も発生しており、国際的な枠組みでの対応が求められているなか、人の手による戦争の悲劇に直面しています。今こそ私たちは、その克服にむけて世界の連帯が求められます。

私たちのサービス・ツーリズム産業は、平和産業として産業の振興をつうじ、人々の交流を生み出し、被災地に笑顔を届けることで、引き続き復興の一翼を担っていきたいと思います。

以 上



**サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)**

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>